

People's Living Lab 促進会議

2020年1月28日



公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会

1. PLL促進会議概要

開催目的

「未来社会の実験場」として、2025年大阪・関西万博を実現するため、多様な企業の参画、共創をはかり、開催前より万博会場内外での実証実験を通じてイノベーション・技術革新の促進をはかる。

議論テーマ

テーマ	主な内容（例）
①会場設計	都市OS、デジタルツイン、会場建設（BIM/CIM）・運営シミュレーション、防災・減災・予防、天候対策（暑さ・雨対策）等
②環境・エネルギー	エネルギーマネジメント、再生可能エネルギー、廃棄物、リサイクル 等
③移動・モビリティ	会場内外移動の最適化（MaaS）、パーソナルモビリティ、水素バス・水素船 等
④情報通信・データ	5G等次世代通信（大容量通信）、移動・体験データ流通・活用、医療・健康、サイバーセキュリティ、ユニバーサルデザイン 等
⑤会場内エンターテインメント	VR/AR、映像、AI/ロボット、エンターテインメント、演出 等

有識者

〈座長〉 金出 武雄 （カーネギーメロン大学）
石川 善樹 （株式会社ハビテック）
齋藤 精一 （株式会社ライゾマティクス）
竹林 一 （京都大学/オムロン株式会社）
豊田 啓介 （noiz/建築家）
牧村 真史 （株式会社集客創造研究所）

2. 最近の動き ～登録申請の閣議決定～

2025年日本国際博覧会の博覧会国際事務局
に対する登録申請について

令和元年12月20日
閣 議 決 定

1. 平成30年11月に開催された博覧会国際事務局総会において、2025年日本国際博覧会の令和7年の開催期日が承認されたことに鑑み、政府は、博覧会国際事務局に対し、国際博覧会に関する条約第6条の規定に基づき、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとして、**新たな技術やシステムを実証する「未来社会の実験場」としての国際博覧会を実現すべく、2025年日本国際博覧会の登録申請を行うものとする。**
2. 2025年日本国際博覧会の会期は、令和7年4月13日（日曜日）から同年10月13日（月曜日）までとする。
3. 政府は、国際博覧会に関する条約の規定に基づき、登録がされた国際博覧会の開催国の義務を果たすために必要な措置を講ずるものとする。

2. 最近の動き ～登録申請書の提出①～

2019年12月27日 B I E へ提出

- ・開催5年前（2020年）までにBIE（博覧会国際事務局）に提出することが求められる、開催国がその計画について記した文書。
- ・BIE総会における登録申請書の承認をもって、外交ルートを通じた正式な参加招請が可能となる。

大阪・関西万博の概要

テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	People's Living Lab（未来社会の実験場）
会場	夢洲（大阪市此花区）
開催期間	2025年4月13日（日）－10月13日（月） ※当初想定 of 2025年5月3日（土）～11月3日（月）から前倒し
想定入場者数	約2,800万人

2. 最近の動き ～登録申請書の提出②～

会場設計計画図



2. 最近の動き ～総理の年頭所感・施政方針演説～

令和2年 総理年頭所感 （令和2年1月1日）（抜粋）

半世紀を経て日本に再びやってくるオリンピック・パラリンピックも、子どもたちが未来に向かって、夢を見ることができる、わくわくするような、すばらしい大会にしたいと考えています。

昨年、ほぼ200年ぶりの皇位継承が行われ、令和の新しい時代がスタートしました。

オリンピック・パラリンピックを経て、**5年後には大阪・関西万博**。

未来への躍動感があふれている今こそ、新しい時代に向けた国づくりを力強く進める時です。

総理施政方針演説 （令和2年1月20日）

「三 地方創生」の中の「【観光立国】」から抜粋

オリンピック・パラリンピックに向けて、サイバーセキュリティ対策、テロなど犯罪組織への対策に万全を期すことで安全・安心をしっかり確保いたします。**5年後の大阪・関西万博も視野**に、多言語化、Wi-Fi環境の整備など、観光立国の基盤づくりを一気に進めます。

3. PLL促進会議①

第1回PLL促進会議概要

1. 日時：2019年11月20日（水）10時～12時半
2. 参加企業・団体：266社・団体 参加人数：300名

■ 議事次第

- ・ 石毛総長挨拶
- ・ PLL促進会議について
- ・ 質疑応答
- ・ 金出様 講演
- ・ パネルディスカッション
- ・ 質疑応答
- ・ 石川様、豊田様 講演
- ・ パネルディスカッション
- ・ 質疑応答



■ 主なディスカッション内容

◎未来社会の実験場に向けた有識者からの提言

①金出様：「ホップオン・ホップオフ」
多数カメラによる会場外参加者とのインタラクティブなやり取り

②石川様：22世紀の新たな予防医学
主観によるwell-being（よりよい生き方）を目指した「箱」での過ごし方、「月の家」の再現

③豊田様：コモングラウンドの実現に向けて

◎企業からの意見、質問（抜粋）

・ 提案について（実証はいつからできるのか、共同体での提案は可能か、など）等

3. PLL促進会議②

第2回PLL促進会議概要

1. 日時：2019年12月19日（木）10時～12時半
2. 参加企業・団体：281社・団体 参加人数：340名

■ 議事次第

- ・ 石毛総長挨拶
- ・ PLL促進会議について
- ・ 質疑応答
- ・ 牧村様、竹林様、齋藤様講演
- ・ パネルディスカッション
- ・ 質疑応答

《会議終了後》

・ 名刺交換会 12時半～13時半

※参加者数189名



■ 主なディスカッション内容

◎未来社会の実験場に向けた有識者からの提言

①牧村氏：快適空間の提供と新システム構築
EXPOアプリによるチケットシステム、混雑緩和、
予約状況等

②竹林氏：自立促進と便利・感動のデザイン
ロボットカフェやバーチャル美術館による感動の
創出とシームレスなインバウンドサービス環境の
提供による負の解消

③齋藤氏：アイデア提案について
関西で活躍するデザイナーを世界に発信、アイデ
アの具体的検討を急ぐ必要あり

◎企業からの意見、質問（抜粋）

・ 提案について（公表可能な提案は早期に公表す
べき、など）等

3. PLL促進会議③

本日、第3回PLL促進会議概要

■ご講演：

- 大阪商工会議所 総務企画部企画広報室長 中村 裕子 様
「多様なPLLをめざして」
- クモノスコーポレーション（株）代表取締役 中庭 和秀 様
「3Dレーザー計測データの利活用の提案
-2025年大阪・関西万博に向けて-」
- （株）SkyDrive 代表取締役 福澤 知浩 様
「日本発 空飛ぶクルマ“SkyDrive”の開発について」
- （株）ティアフォー COO(最高執行責任者) 田中 大輔 様
「新しい都市に溶け込むモビリティを目指して」

3. PLL促進会議④

第4回PLL促進会議

■日時： 2月28日（金） 10:00～12:30

■場所： 大阪商工会議所 7階 国際会議ホール

■ご講演：

●(株)エクサウィザーズ

代表取締役社長 石山 洸 様

●関西経済連合会

理事・産業部長 野島 学 様

●大阪大学

理事・副学長（グローバル連携担当）河原 源太 様

●東京大学（第4回or第5回で調整中）

講演者調整中

3. PLL促進会議⑤

第5回PLL促進会議

■日時： 3月23日（月） 10:00～12:30

■場所： 大阪商工会議所 7階 国際会議ホール

■ご講演：

●内閣府

大臣官房審議官（科学技術・イノベーション担当） 高原 勇 様

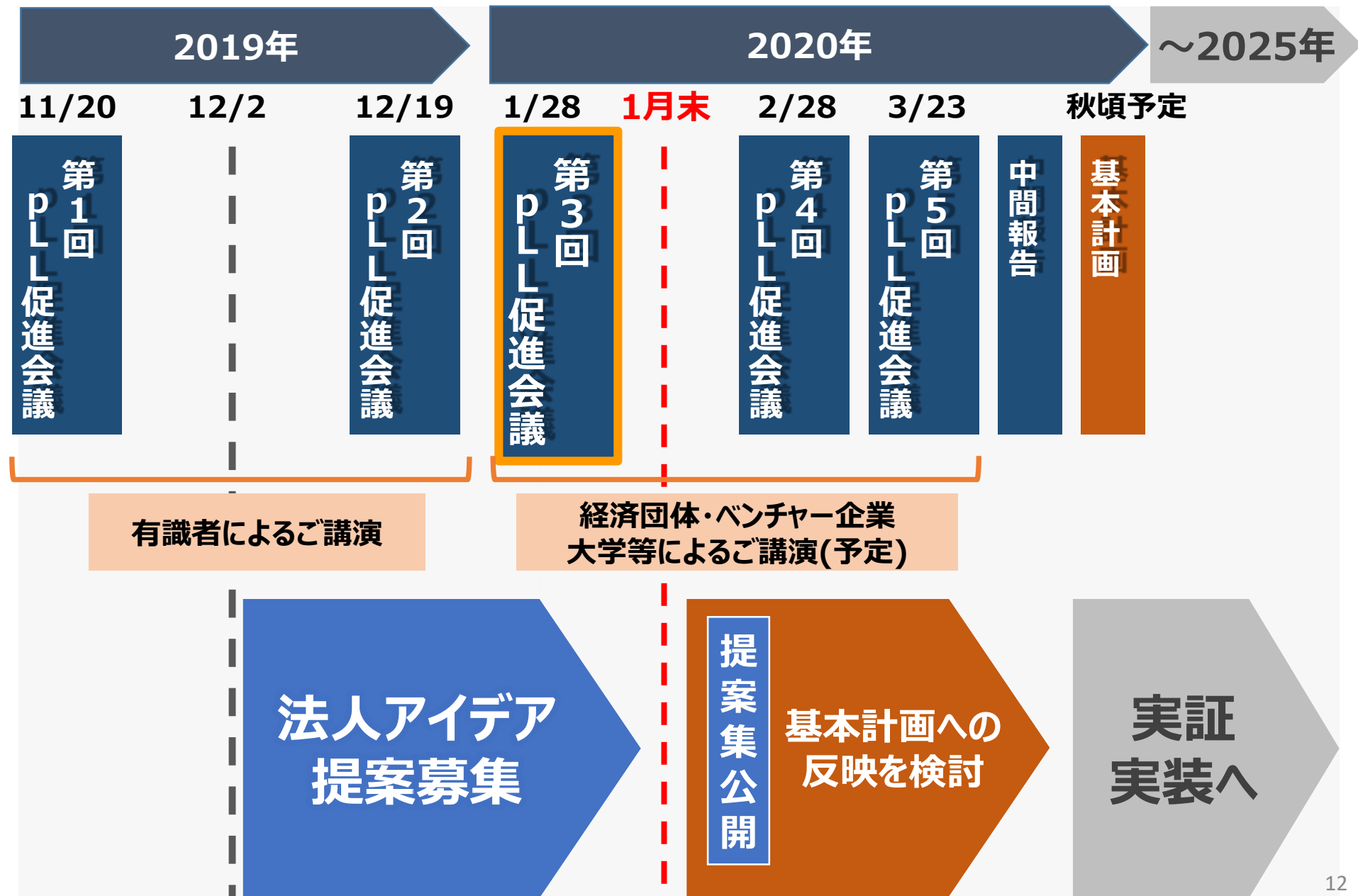
●関西経済同友会

大阪・関西EXPO2025委員会 委員長 笹川 淳 様
（株）大林組 専務執行役員）

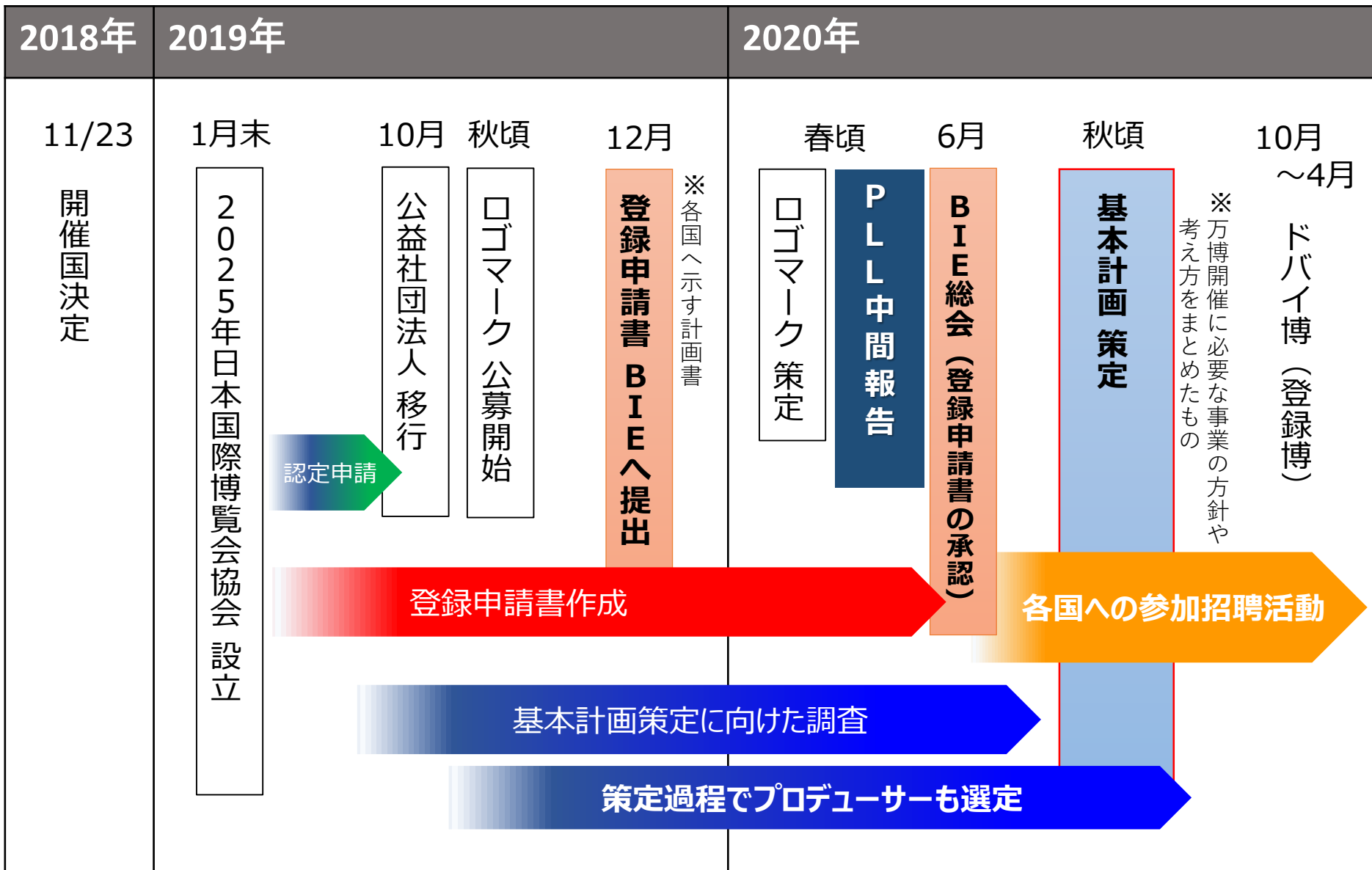
●（株）国際電気通信基礎技術研究所

代表取締役社長 浅見 徹 様

4. スケジュール①



4. スケジュール②



5. 提案募集①

募集内容

2025年万博会場等で実証・実装したい
「未来社会」のアイデアを幅広く募集！

募集期間

2019年12月2日(月)～2020年1月31日(金)

締切間近！

1月27日現在応募受付状況

約180件（70団体）

募集方法

協会HPにて募集要項を公開中！

<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20191202-02/>

5. 提案募集②

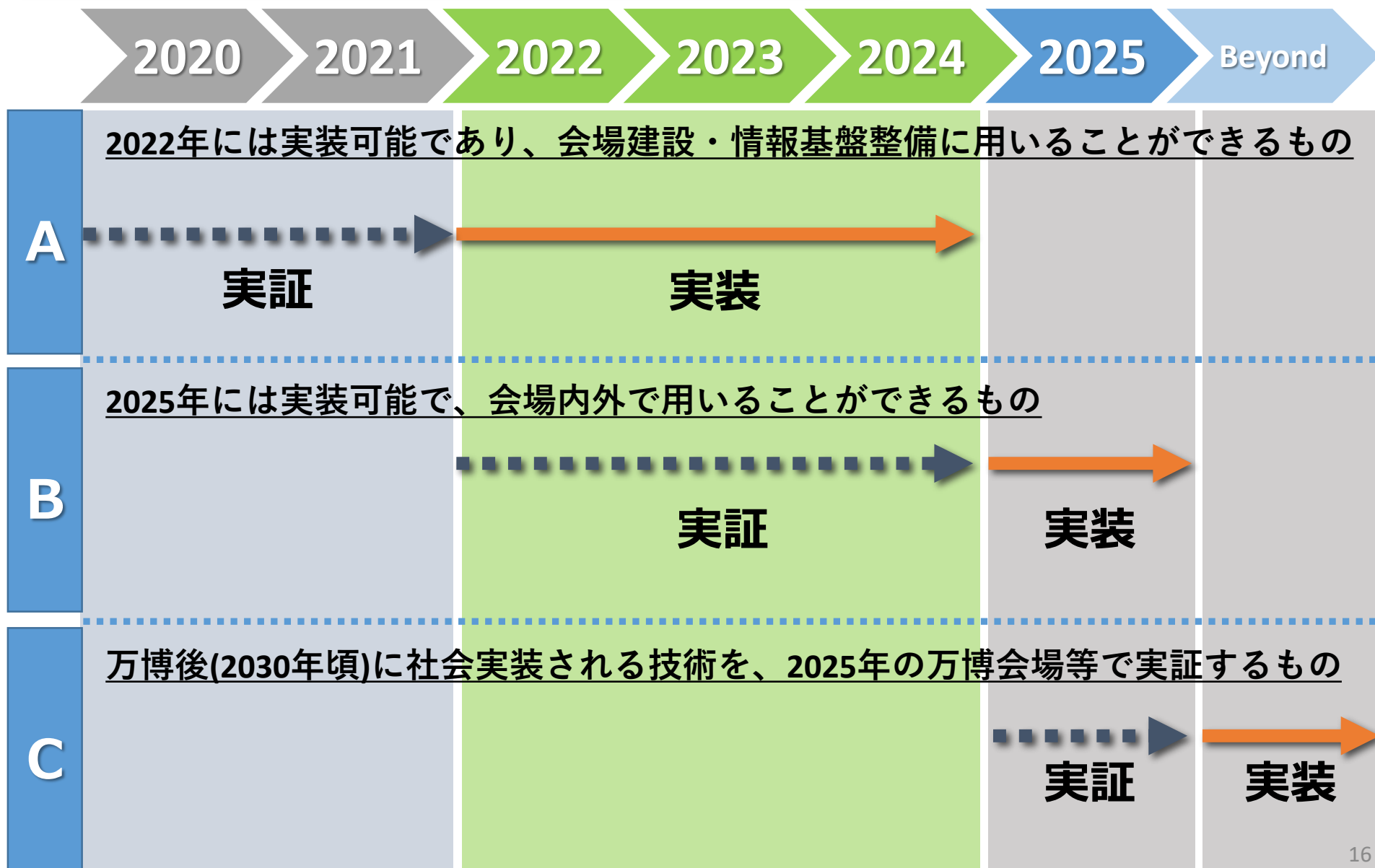
2025年の万博会場等で実装あるいは実証する
「未来社会（SDGs達成＋Beyond、Society 5.0等の
実現）」の**アイデアについて広く提案を募集**します。

皆様から頂いた提案は、2025年大阪・関西万博の
基本計画への反映を検討します。

万博会場等で実現したい**アイデアの新規性**や、その
アイデアの実装や実証の実現に向けて**必要な環境・条
件、事業・実証パートナー、規制・制度面、支援**（資
金的支援、実証の機会・場所の確保等）等についても
ご提案ください。

5. 提案募集 ～提案フレーム（時間軸）～

提案フレーム（実装および実証における時間軸イメージ）



5. 提案募集 ～提案フレーム（空間軸）・提案テーマ～

提案フレーム（実装および実証における空間軸イメージ）



提案テーマ

テーマ	主な内容（例）
①会場設計	都市OS、デジタルツイン、会場建設（BIM/CIM）・運営シミュレーション、防災・減災・予防、天候対策（暑さ・雨対策）等
②環境・エネルギー	エネルギーマネジメント、再生可能エネルギー、廃棄物、リサイクル 等
③移動・モビリティ	会場内外移動の最適化（MaaS）、パーソナルモビリティ、水素バス・水素船 等
④情報通信・データ	5G等次世代通信（大容量通信）、移動・体験データ流通・活用、医療・健康、サイバーセキュリティ、ユニバーサルデザイン 等
⑤会場内エンターテインメント	VR/AR、映像、AI/ロボット、エンターテインメント、演出 等
⑥その他	自由記入

5. 提案募集 ～提案フォームの記載～

提案フォーマットの公表／非公表の区分をチェック下さい

➡ 公表区分及び公表希望を選択頂いた項目について『提案集』をまとめ公開予定

項目	内容	公表区分
Ⅰ. 提案法人・団体	a) 提出者の連絡先情報	非公表
	b) 提案法人・団体情報	公表／非公表
Ⅱ. 提案の名称	① 提案名	公表
	② 検討テーマ	
Ⅲ. 提案の概要	③ 提案のポイント、提案概要	公表／非公表
Ⅳ. 提案の詳細	④ 【実装あるいは実証のパターン】時間軸、空間軸	原則非公表
	⑤ 提案を実現するための実装あるいは実証シナリオ、提案の実現イメージ	
	⑥ 提案実現のために貴法人・団体がお持ちの強み	
	⑦ 提案実現のために必要なその他の条件	
Ⅴ. 添付資料	⑧ 添付資料	公表／非公表

5. 提案募集 ～ご提案集の公開イメージ～

皆様のご希望に基づいて提案集の個票を作成し、2月中旬に公表予定

すべての選択肢で **公表** を希望
頂いた場合のイメージ

提案者 情報	提案ID	12345
	提案法人名	-
	提案団体名	大阪モビリティコンソーシアム
	代表法人名	株式会社PLL
	構成団体名	ABC株式会社、XYZ大学

- ①提案名 全ての人が快適に移動できる未来を実現する自律型連結モビリティ
- ②-1【検討テーマ】テーマ ③移動・モビリティ
- ②-2【検討テーマ】分野 パーソナルモビリティ、AI
- ③-1 提案のポイント 最新の人工知能技術を活用することで~~~~。
- ③-2 提案概要 このパーソナルモビリティは、小回りが利く連結型の~~~~。
- ⑤に関する資料 実現イメージ.pdf
- その他の添付資料 搭載AI技術詳細.pdf

すべての選択肢で **非公表** を希望
頂いた場合のイメージ

提案者 情報	提案ID	12345
	提案法人名	-
	提案団体名	非公表
	代表法人名	非公表
	構成団体名	非公表

- ①提案名 全ての人が快適に移動できる未来を実現する自律型連結モビリティ
- ②-1【検討テーマ】テーマ ③移動・モビリティ
- ②-2【検討テーマ】分野 パーソナルモビリティ、AI
- ③-1 提案のポイント 非公表
- ③-2 提案概要 非公表
- ⑤に関する資料 非公表
- その他の添付資料 非公表

5. 提案募集 ～ご提案書の取り扱い～

募集要項の【留意事項】にて、ご提案書の取り扱いについて、**「当協会において PLL 促進会議での議論や基本計画の検討にあたり活用させていただきます。」**と記載しておりますが、PLL 促進会議での議論や基本計画の検討にあたっては、**本PLL促進会議の有識者をはじめとする当協会が委嘱する有識者や業務委託事業者に守秘義務契約締結の上でご提案書を開示**することがあります。



当協会職員以外の**上記有識者や業務委託事業者へのご提案書の開示につきご了承を頂きたく**、ご提案者の皆様にはメールを送信させて頂きますので、ご確認のほど宜しくお願い致します。

5. 提案募集 ～2月以降のご提案取り扱い～

2月以降のご提案対応

2020年2月3日(月)～

- ① **修正提案**：受付期限2020年3月31日（火）
(1月末迄に応募頂いたご提案の修正・ブラッシュアップ版)

応募先
①

People's Living Lab促進会議 アイデア募集事務局
Eメール：app-pll@ml.mri.co.jp

- ② **新規提案**：期限なし（随時受付）

応募先
②

2025年日本国際博覧会協会 新規アイデア提案窓口
Eメール：app-pll@expo2025.or.jp

HPに応募フォーマットを掲載致します。上記までご応募下さい。
(応募先①と②はアドレスが異なりますのでご注意下さい。)